

1 総合評価の結果等
平成30年度 各所別就職支援業務報告



山形労働局職業安定部

ハローワーク山形 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、昨年度に続き、主要三指標（就職件数、充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数）、特に「就職件数」の数値目標達成を最重要課題に掲げ、重点的に取り組むこととし、職業紹介件数・求人情報提供件数の増加を図るため、各職員に共通目標（1人1日：職業紹介件数3件以上、求人情報提供件数4件以上）を設定し、職員自らが進捗管理を実施し、日々の取扱状況を各管理職員に毎日報告（所定用紙を設定）する体制を構築しました。また、所内のハローワーク総合評価に係るプロジェクトチーム（以下、「PT」という。）による毎月の進捗管理、各指標においてチームごとに四半期ごとのPDCA管理を徹底し、課題や問題点の早期把握に努めるとともに、課題等に対しては速やかに取組みの見直しを行いました。

さらに、PTの指示を受け、指標ごとのワーキングチーム（以下、「WT」という。）の作業班により、毎月のスモールPDCAを実施し取組みに反映させました。この取組みの結果、主要三指標に加えて、その他の職業紹介関係指標においても目標を達成することが出来ました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、毎年度当初に、全体PT（所長、各部長等管理職員）、WT（職員・相談員各2人組）を設置し、戦略会議を行っています。中長期的な職員の育成を図る観点から、WTに若手職員や相談員を積極的に参画させ、PDCAサイクルを廻していく工夫を行いました。

また、山形労働局内で独自に策定した「職業紹介関係業務の充実・強化及び雇用管理指導援助業務の積極的な実施について」（CAP30）に掲げた内容の徹底を図るため、新採1年目・2年目・相談員を対象に研修を実施し、職業紹介業務における基本スタンスと取組の方向性等についての確認を行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求人数の高止まりや求職者の減少傾向が続き、求人充足支援が重要な課題となっていることから、求人充足の充実を図り、事業所訪問を積極的に実施し、雇用管理改善や働き方改革の推進に繋がる助言・提案を行いました。

平成30年度から人手不足分野における人材確保対策を行う為、新たに設置した「人材確保・就職支援コーナー（人材確保対策コーナー）」では、支援の対象となる求職者の開拓（確保）を行うとともに、求人者ニーズや人材の過不足状況を把握するため事業所訪問に重点的に取り組

み、人材不足分野への再就職等を考えている方々から参考にしていただくため、事業所に対し「一人前プラン（入社した後のキャリア形成、キャリアプランを求職者にイメージしてもらい興味・関心を持ってもらうための資料）」の作成を依頼し、求職者に提供する独自の取組を実施しました。

また、高齢者の就業ニーズの高まりを背景に、60歳以上歓迎求人一覧表の作成・提供、求人情報提供端末に「60歳以上歓迎求人」ボタンを設定して、積極的な情報提供に取り組みました。

さらに、来所者の相談窓口を利用していただくため、求人情報提供端末の脇に支援メニューを貼付し、相談窓口利用のメリットについて周知を図りました。また、管内各自治体に「ハローワーク支援メニュー」の設置を依頼し、相談窓口利用者の増加を目指しました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

就職面接会、ミニ選考（面接）会・会社説明会を実施。求職者の減少傾向の中、参加事業所・求職者とも増加しましたが、参加した求職者との希望条件等のミスマッチにより、就職件数の増加には繋がりませんでした。今後の実施については求職者ニーズの把握に基づく事業所選定や求人者ニーズに沿った求職者への呼びかけなど、より実効性のある取組にするための工夫を行いながら実施します。

また、求人・求職のミスマッチ解消に向けて、求人充足対策を強化することとし、雇用管理改善指導や働き方改革の推進をより一層図ってまいります。

（4）その他業務運営についての分析等

求人数の増加、求職者の減少から有効求人倍率は好調に推移している中であって、目標に対する達成状況、取組の成果は合格点と言えると考えていますが、求人者・求職者に対して信頼できるハローワークであることが求められており、ハローワーク評価の対象以外の取組を含め、より地域に根差したハローワークであることを目指します。

人手不足が深刻化する中で、雇用管理改善、働き方改革等の推進を通じ、地域の雇用環境の改善や就業環境の底上げが求められており、自治体等との連携を図り、利用者ニーズ・政策課題に沿った支援を推進します。

人材不足分野の求人充足支援サービスの強化も重要な課題となっており、より効果的に実施するために事業所訪問を積極的に実施し、事業所ニーズを把握することで求人票以上の情報収集に努めます。併せて、求職者ニーズをよりの確に把握し、きめ細かな相談や課題解決のサービスの充実を図っていくことがマッチング機能の効果と質そのものの向上に繋がるとの観点から、更に推進していきたいと考えています。

2 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数
実績	7,554	7,701	1,834
目標	7,217	7,370	1,691
目標達成率	105%	105%	109%

ハローワーク米沢 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、「魅力ある職場づくり」の推進及び正社員就職の向上を最重要課題と捉え、職員による事業所訪問を通じて正社員求人を開拓（確保）し、その求人に対する充足支援の取組を強化してきました。具体的には、求人充足を図るための様々な支援メニューを検討する求人充足会議の開催、求人説明会やミニ面接会、ダイレクトテレフォンやダイレクトメールによる求人情報の提供など、求人と求職のマッチングスピードを重視しながら取組を進めました。

特に、新たな求人確保と潜在的な求職者開拓を目的として開催した各種就職面接会は、「適職到来」をキャッチフレーズに実施することで、当所が実施する事業であることを明確化するとともに、各市町及び商工会議所（商工会）をはじめとする関係機関との連携体制を構築し、年4回（7月・10月・11月・2月）で参加求職者約600名、参加事業所172社、就職件数134件と大きな効果が見られ、関係機関からは事業継続・拡充を要望されています。

また、面接会では、参加企業PR冊子を作成し、求職者が知りたい情報である①我が社のプライド（オンリーワンの誇り）、②従業員のメッセージ、③平均年齢、④平均勤続年数などを掲載し、面接会以降の場面でも活用できるよう工夫したことが、利用者から「応募を検討する参考になった」等の評価をいただくことにつながりました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成及び職業相談等で必要となる労働関係法の知識を習得する観点から、若手職員・求人担当職員対象の事業主指導研修、窓口で必要な年金に関する研修、裁量労働制等の労働法の研修を実施しました。

また、各種取組の進捗管理については、スモールPDCAサイクルによる目標管理の手法を活用し、事業評価（効果検証）を適切に実施することで、取組の改善・工夫を図りました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

様々なリーフレットやパンフレットが混在しており、職員から「配架しているものの、利用者から見て分かりにくいのでは」との意見を踏まえ、目的ごとの配架、ポスター貼付スペースの整理など、広報媒体整備の取組を実施しました。その結果、必要な情報を的確に提供できる環境

を確保することができました。引き続き、必要な情報を必要な時期に提供できるよう取組を進めていきます。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

我が国の最重要課題の1つである「働き方改革」を着実に推進するためには、生産性向上等による企業の変革とともに、職場環境や待遇改善等による「魅力ある職場づくり」を進めることが極めて重要です。こうした動きを生み出していくことが、人材の定着・確保対策につながることから、これまで以上に事業所訪問を充実強化し、企業のニーズ等を適格に把握しながら雇用管理について指導・援助できる体制を構築していきます。

なお、令和2年1月から、ハローワークの業務システムの刷新が予定されています。これを機に、ハローワークのきめ細やかな対面サービスの強化や、求人票以上の求人情報を把握・蓄積し求職者に提供することなど、求人・求職のマッチング可能性を高める取組を強化していきます。

さらに、建設・福祉・警備・運輸の4分野に係る人材確保対策を強化してまいります。

(4) その他業務運営についての分析等

新たな求人の確保、潜在的求職者の掘り起し等を目的に実施してきた就職面接会について、ミニ面接会やミニ求人説明会などを、より機動的に実施することにより、さらに就職件数の向上を図るべく取組を進めてまいります。また、各基礎自治体、商工団体等のみなさまから、UIJターンの取組強化との意見をいただいていることから、関係機関それぞれの強みを発揮し一体的に取組を推進できる体制の検討を実施します。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者早期再就 職件数
実績	3,067	2,813	876
目標	3,064	2,875	800
目標達成率	100%	98%	110%

ハローワーク酒田 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

各指標に対する取組

当所では、主要3指標（就職件数、充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数）のうち、就職件数と充足件数の目標達成に向けた取り組みが、所の業務推進の基礎となると判断し重点的に取り組みました。能動的マッチングの強化、求職者・求人者担当制への継続的取り組み、シニア歓迎求人・会社見学可能求人・正社員求人等特化求人の確保などの基幹的な取り組みと、人手不足感が広がるなか、充足支援（事業所支援）に軸足を置いた取り組みとして、求人説明会・ミニ面接会の拡充、新規取組として自治体と連携した会社見学バスツアー開催等の業務を推進しました。

主要3指標のうち、就職件数と雇用保険受給者の早期再就職件数は目標を達成したが、充足件数はわずかに目標に届きませんでした。しかし、これら充足支援のための各種取り組みにより、進捗率99.4%にまで引き上げることができたと判断しています。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

①雇用保険受給者の早期再就職支援

平成30年5月より、雇用保険受給資格決定後1週間で再就職手当シミュレーション（手当受給見込み額）を職業相談部門で郵送することとし、求職者担当制と連動した取り組みとして、担当者がマッチングした求人や求人説明会等イベント案内を同封し、早期再就職の更なる意欲喚起を行いました。

雇用保険受給者の担当者制支援対象者423名のうち就職者数277名の実績（就職率65.5%）となっており、雇用保険受給者の早期再就職件数目標達成の原動力となりました。

②満足度調査への対応

前年度の利用者満足度調査の結果を踏まえ、窓口誘導対策や相談窓口での応募書類作成アドバイス、求人情報の提供の強化等を徹底することで能動的マッチングの充実を図り、また、視覚的には、掲示板を刷新してイベント等を効果的に周知する、パンフレット台の整理整頓管理、毎朝の清掃の徹底等を実施した結果が、求職者・求人者ともに満足度100%の結果に繋がりました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

①求人者支援の強化策として、自治体と連携したミニ面接会（参加企業を市町村単位で限定）を実施する。

②応募書類作成、面接対策等の予約制による個別支援の実施（週2回程度曜日を決めて実施）。

③ジョブプラザさかたの利用者増加を図るため、フリーペーパーへの広告掲出、マザーズ対象求人事業所の求人説明会の実施などに取り組む。

(4) その他業務運営についての分析等

平成30年度1年間のうち、有効求人数が前年同月比で減少したのは11月と12月の2回だけであり、有効求人倍率が高止まりして人手不足感が広まるなか、求人充足支援、ひいては雇用管理指導援助を取り込んだ事業所支援の重要性はますます顕著になると思われます。30年度のハローワーク評価の取り組みの中で、求人者支援にかかる項目が目標に届かなかったため、今年度は当初から充足支援に軸足を置いた取り組みを徹底します。具体的には、人材不足分野を対象とした「警備の仕事ミニ面接会」「建設・運輸の仕事ミニ面接会」並びに、山形県福祉人材センターと連携した「介護の仕事面接会」を開催することとしています。また、自治体との連携によるアプローチとして、「会社見学バスツアー」を引き続き実施し、新たに「自治体と連携したミニ面接会」（前掲）を開催します。一方、有効求職者の中における高齢者の割合が増加傾向となるなか、シニア層への総合的な支援が求められているため、生涯現役支援窓口の活用とともに、シニア歓迎求人量の確保、シニア歓迎求人コーナーへの求人掲示、シニア歓迎求人情報の月2回定期発行、「はつらつシニア面談会」の開催を実施していきます。

2 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数
実績	2,921	2,817	802
目標	2,794	2,835	680
目標達成率	105%	99%	118%

ハローワーク鶴岡 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

「正社員求人数」と「正社員就職件数」の目標達成を最重要とし、事業所訪問を計画的に取り組むとともに、9月・10月を正社員強化月間としてキャンペーンを実施し正社員求人の確保並びに正社員求人への職業紹介を積極的に行いました。

また、就職面接会（ワークチャンス庄内鶴岡会場）、ミニ面談会、求人説明会等を組織的に開催し、さらに、正社員求人一覧表の作成、提供を2週間毎に行いました。

多様な求職者のニーズに応えるため、重点ポイント、テーマを設定し、「60歳以上対象求人」「土日休み求人」「若年者U45対象求人」「パート求人」及び人材不足業種への対応の強化として「警備・建設・運輸等求人」等の「ミニ就職面談会」を実施しました。

この取組の結果、「正社員求人数」及び「正社員就職件数」は、年間目標を上回る実績となり、加えて主要指標である就職件数、充足件数についても目標を達成することができました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・雇用保険受給者への就職支援講習会（初回講習会）と雇用保険初回説明会との分離開催による、求職活動の準備・心構えやハローワーク利用法等の丁寧な説明の実施
- ・雇用保険受給者（給付制限者）へ早期再就職の意識啓発のため、求人情報提供や呼び出し相談（認定日当日）の実施
- ・「事前見学歓迎求人」の確保及び情報の提供（求人情報検索機特化ボタンの設定並びに2週間毎の一覧作成配布）の実施
- ・人材不足分野への対応の強化（ミニ面接会等の開催）
- ・ハローワークの窓口で気軽に相談できる旨の記載を行った「サポート・カード」を作成し、検索機端末脇や記載台への配置

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・「我社の Good Point」（企業によるアピール情報揭示）と「求人説明会」のセット型の実施
- ・一般求職者向け「就職支援講習会」の開催
- ・新システム刷新に併せて「操作方法」等のセミナーの開催
- ・ハローワーク鶴岡 HP の作成

- ・ハローワークの利用促進、「ハローワーク支援メニュー掲載リーフレット」の作成および管内全戸配布

(4) その他業務運営についての分析等

- ・計画的な事業所訪問の実施及び取得情報の共有化
- ・就職支援の取組み（情報提供及びフォロー等）の強化及び取組進捗状況の見える化の構築
- ・充足会議と求人担当制の効果的な取組み

2 総合評価 (※)

非常に良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数
実績	2,848	2,898	732
目標	2,740	2,608	700
目標達成率	104%	111%	105%

ハローワーク新庄 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

各指標に対する取組

主要指標の項目である就職件数、充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数の目標達成に向けて、求職者担当制による就職支援、求人説明会の実施をはじめとする求人充足支援、雇用保険受給資格者の早期再就職に対する意欲喚起と効果的なマッチング支援に重点的に取り組みました。

具体的には以下のとおりです。

○能動的マッチング支援：以前より取り組んできた「マッチングセレクション555」と銘打った求職者担当制による能動的マッチング支援に継続的に取り組みました。

○求人者支援：求人部門、職業相談部門の職員全員による求人充足会議（毎朝開催）において、求人内容のチェック及び事業所情報の共有化を図りながら、充足に向けた協議、求人担当制による充足支援対象求人の選定を行いました。充足しない求人については、未充足求人对策会議において内容検討のうえ、事業所訪問等により充足に向けた求人要件緩和指導等を実施しました。その他、更新を繰り返しても紹介に至らない求人等については、事業所訪問等により、状況の説明と魅力ある求人に向けたアドバイスを行いました。

○雇用保険受給者の早期就職に向けた取組：①雇用保険受給資格決定後、概ね1週間経過頃に個人ごとの再就職手当シミュレーション（手当受給見込み額）を送付しました。②求職活動に関する講習の充実を図るため、初回就職支援講習会（以下、「初回講習会」という。）を9月から雇用保険初回説明会と分離して開催することとしました。初回講習会では労働市場の状況、ハローワークの利用方法、職業訓練情報等求職活動に関わる説明を主な内容としました。雇用保険説明会と分離することにより、講習の内容を充実させ、受給者の就職意欲の喚起、就職促進に繋げる取組みとなりました。また、職業相談部門のナビゲーター等を初回講習会の講師にすることにより当該職員のスキルアップにも繋がりました。

○求人説明会の開催：雇用保険受給者の初回講習会終了後に、同じ会場において「求人説明会」を開催する取組みを新たに始めました。初回講習参加者以外の求職者の参加も増え、毎回定員を超える参加状況となっており、求人者からも好評を得ています。9月から3月までに26回（26社）開催し、初回講習受講者342名、それ以外の求職者が312名の合計654名の参加となりました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

上記の重点的な取組を進めるにあたって、効果的な取組とするため以下の工夫、改善を図りました。(上記(1)の「特に重点的に取り組んだ事項」における記載との重複あり)

○雇用保険受給者に対する集中的な再就職支援の実施<各取組の相乗効果を得た改善>:個人ごとの再就職手当シミュレーション送付(6月開始)に加え、雇用保険説明会と分離した初回講習会及び初回講習と組み合わせた求人説明会を9月から毎週月曜日の定期開催としました(上記(1)「○雇用保険受給者の早期再就職に向けた取組」参照)。これらの取組により、受給資格決定後早期の集中的な就職支援がより効果的であるという手ごたえがあったため、さらに、その時期に合わせた能動的マッチング(求人情報提供等)に力を入れました。

○求人説明会の改善:当所においてこれまで実施していなかった求人説明会(上記(1)「○求人説明会の開催」参照)を、年度当初に待合スペースを活用して実施したところ、参加数が少なく、また、集中して説明を聞くことのできる環境(会場)とは言い難く、継続的な開催に至りませんでした。そこで、初回講習会の独立開催を機に、求人説明会との同時開催という形で実施することとしました。雇用保険受給者の就職意欲の喚起、求人に係る理解が進み就職促進の効果の他、求人者に対する充足支援策にもなりました。

○合同面接会の開催に係る改善:平成30年度に、新庄市の「人財育成推進・確保対策協議会」と共催、山形県最上総合支庁、地区雇用対策協議会の後援による就職面接会を11月と2月に開催しましたが、2回目の開催にあたっては、人材不足が進む雇用情勢を考慮し、参加企業のPR(事業内容、求人内容等)により重点を置いた資料、進行方法に変え実施しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

○求職者ニーズに合った求人、正社員求人の確保に向けた取組の改善:平成30年度は管内の企業から「人材不足」の声が聞こえる一方、新規求人数は伸び悩みました。新規求人に対する正社員求人の割合は年度平均で54%と前年度よりも高くなったものの、正社員求人数が目標に届かず、正社員就職件数も目標まで15件不足という結果となりました。職業相談部門からも求職者ニーズにあった求人の確保を求める声があがったものの、未充足求人(更新対象求人を含む)等について労働条件の見直しや雇用環境の改善の取組などの働きかけを行っても、なかなか条件の見直しに至りませんでした。今後はさらに積極的な事業所訪問を行い、求人数の確保と求職者ニーズを踏まえた魅力ある求人の確保に、より一層取り組む必要があります。特に人材不足分野においては、雇用管理改善の好事例を紹介しながら充足支援を進めていくことが有効と考えています。

○求人説明会の充実と事業所見学会の実施:平成30年度後半に始めた求人説明会について、パワーポイントやポスターなどを使用し効果的なプレゼンテーションを行う事業所がある一方、口頭による説明で終わる事業所があるなど、事業所間での差が見受けられたため、効果的な説明会とするため事業所に対するアドバイスを行うなどの支援と、実施後のフォローアップを充実させ、より効果的なものとなるよう改善をしていく必要があります。また、求職者の事業所に関する理解を深め、適格紹介に結びつけるために「事業所見学」をより積極的に進めていきたいと

考えています。

(4) その他業務運営についての分析等

当所管内の新庄・最上地域でも、若者の地元定着・回帰が喫緊の課題となっており、県や市などの自治体、学校、事業主団体等一丸となった取組が進められております。当所も「オールもがみ若者定着・人材確保推進会議」（最上総合支庁主催）や「人財育成推進・確保対策協議会」（新庄市主催）の他、介護職や看護職に特化した「もがみ介護人材確保推進ネットワーク協議会」、「もがみ看護師確保推進ネットワーク協議会」に参画しており、地域の方々とともに取り組み、地域におけるハローワークの役割を担ってまいります。

2 総合評価（※）

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者早期再就 職件数
実績	1,634	1,425	342
目標	1,500	1,333	385
目標達成率	108%	106%	89%

ハローワーク長井 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

各指標に対する取組

双方向型の担当者制を活かしながら、求人者・求職者の双方へのサポートとして、「スピードマッチング（1週間以内にマッチング行動）」及び「個別サポート（早期就職、早期充足対策として、初回認定日・定例充足会議の後から4週間マッチング行動）」を両軸としているほか、雇用保険給付制限者への担当者制による支援を行い、給付制限が経過するまで個別にフォローを行うなど、主要三指標（就職件数、充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数）の目標達成に向けて取組を実施しました。

・初回講習について

雇用保険初回説明会とは分離して、一週間に受給資格を決定した方に対し、翌々週の水曜日10:30から1時間かけて再就職支援についての説明を行う「初回講習会」を開催しました。就職支援ナビゲーターにより、①ハローワークの利用の仕方(40分)、②早期再就職について(15分)、③最近の労働市場について(5分)の内容を説明し、更に早期再就職に役立つ「再就職手当」については、手当受給見込み額の個別シミュレーション及び早見表の資料提供を行い、職業相談件数及び就職率のアップの取組を行いました。

・職場見学会&相談会の実施について

月2回のペースで実施しており、1回につき1事業所の職場見学としていますが、毎回5～10名の求職者の参加があり、相談会も兼ねているため、応募する前に自分の希望を確認でき、マッチングについても紹介に至る確率が高いものとなっており、就職率及び充足率アップに繋がっていると捉えています。

・「生涯現役社会」実現に向けての取組について

働く意欲のある高齢者の「雇用の場の確保が不十分」であることから、事業所及び求職者を対象に高齢者雇用のための「雇用管理セミナー」の開催、60歳以上の高齢者の雇用に前向きな事業所の有効求人一覧表を毎月15日発行するなど、高齢者雇用についての理解・啓蒙を含めた取組を行いました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

- ・雇用保険受給者の早期再就職意欲の喚起のため、失業給付認定日の際の待ち時間を利用して、再就職手当制度や再就職のメリットなどをアピールする『ヤッピー劇場』というコントタッチの“いい話”を創作し、待合室の「インフォメーションディスプレイ」にて放映しています。雇用保険受給者の早期再就職への関心も高くなってきています。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・好景気の影響で求職登録者が減少傾向の中、「人手不足」とする事業所が増加し、事業所支援の強化が課題となりました。ハローワークの利用推進とともに、多様な働き方の提案として、月ごとにテーマを設定し、「エルダー（60歳以上）推進月間及びミニ面接会」「土日休日を原則とする求人を対象とするミニ面接会」「働き方改革（子育て支援等）に取り組む事業所対象のミニ面接会」を開催したほか、西置賜雇用対策協議会と連携した「オール西置賜就職面接会」を開催するなど、地域に根ざした雇用促進の取組を実施しました。
- ・職業紹介マッチングについて、年間目標値を掲げ、業務推進の戦略会議である「所内PT（プロジェクトチーム）会議」を毎月開催し、進捗状況管理及び現状分析や改善対策等を協議し、再就職支援に取り組んでいます。

(4) その他業務運営についての分析等

- ・職員スタッフの意見のボトムアップと「業務のカイゼン」を検討する定例会議を毎月実施し、アイデアを各種イベント企画等に取り入れるなど、前述の「所内PT会議」と併行して実施しています。
- ・前述の職場見学会の広報時には、企業からの協力を得て、作業環境の写真や、部品だけでは想像できない完成品の写真などを掲載したり、従業員からのメッセージを挿入したり等、工夫を重ね、応募意欲が高まる紙面に仕上げているところですが、求職者から好評を得ているところです。
- ・ツアー型面接会の「会社見学会&相談会」の企画では、在職者を含め、新たなハローワーク利用者の取り込みに効果があったと分析しています。

2 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者早期再就 職件数
実績	1,112	1,111	221
目標	1,111	1,001	244
目標達成率	100%	111%	91%

ハローワーク村山 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

雇用保険受給者の早期再就職件数の目標達成を最重要と考え、求職者担当制による個別支援、失業状態であるかの確認を行う失業認定日での全員相談、希望条件と見合う求人の選定を行う失業認定日事前マッチングや給付制限期間中における職業相談等の取り組みを実施しました。平成30年6月からは、雇用保険説明会と早期再就職のメリットと就職支援メニューを理解していただくための就職支援講習会（以下、「初回講習会」という。）の分離開催を実施し、また、同月より毎回テーマを設け、テーマに沿った求人を提出する2～3事業所が参加したミニ面接会を月1～2回実施しました。こうした取組により、主要3指標（就職件数、充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数）の目標を達成することができました。

また、毎月幹部職員が管内4市町を訪問し、雇用情勢の説明、情報交換を行い、町役場での出張相談、無料職業紹介を実施する自治体との共同研修の開催など連携推進を図りました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

来所者の利便性を考え、玄関ホールの展示レイアウト・表示を改善し、分かりやすく求人情報、各種イベントを目的別に収集できるようにしました。

また、雇用保険初回説明会と初回講習会の分離開催に伴い、就職支援メニューや説明資料を改善し、職業相談窓口の利用勧奨や職業訓練、再就職手当の制度内容などの説明を充実させ、再就職のニーズを十分に把握した情報の提供など求職者との信頼関係の構築に努めました。

（3）今年度見えてきた課題と今後のサービス・業務改善の取組について

求人充足・人材確保等求人者支援の充実を図る方策として、計画的な事業所訪問を増やし、良質な求人の確保と求人条件緩和指導による求人充足サービスを強化していきます。また、求人票の「仕事の内容」についてさらに記載を充実させるとともに、求人票以上の情報を蓄積し、求人提案型の窓口相談を強化します。

(4) その他業務運営についての分析等

少子化及び若年者の都市への流出等により、企業における人材確保（特に技術者（理系の学生を含む））は、より困難な状況となってきていることから、「山形県Uターン情報センター」等地方自治体との連携を強化します。

2 総合評価（※）

非常に良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数
実績	1,709	1,618	435
目標	1,659	1,561	420
目標達成率	103%	104%	104%

ハローワーク寒河江 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、求職者ニーズを的確に把握し、そのニーズに応じた就職支援を実施。特に正社員就職を促進することを重点として業務を運営しました。正社員求人等を確保するため計画的な事業所訪問を実施し、求人条件の緩和指導、事業所ニーズの把握および画像情報を含む事業所情報を収集し、その情報を的確に求職者に提供することにより、正社員就職の促進を図りました。事業所訪問件数は409事業所、画像情報等の収集件数は76件となっております。また、正社員求人を中心とした就職面談会を年3回実施し、求職者に対し就職機会を提供するとともに求人者の充足支援を図りました。就職面談会には136事業所、561人の求職者が参加し、99人の就職が決定し、事業所、求職者双方から評価される取組となっております。この就職面談会には、地方自治体や関係機関など15機関からの協力を得て、専門機関相談コーナーを設置し、年金相談、UIJターン相談・職業訓練相談、保育士・看護師・福祉の仕事の相談など求職者に対するワンストップサービスを提供することができました。

このほか、求職者担当者制の実施、求人充足会議の充実（求人充足会議の対象求人は担当者制で対応し、求人件数174件求人数221人に対し、3月末現在の充足数は90人と充足率は40.7%に達しております。）、ミニ面談会の開催等により、マッチング機能の強化を図り就職促進に努めました。特に人手不足感の強い福祉・介護分野では、職場見学に力を入れて開催し（開催回数15回21事業所（うち介護事業所数は15、保育施設2）見学者数136人、採用決定者数20人）求人充足支援を図りました。

また、大学卒業予定者、UIJターン希望者向けの「山形ワークフェス in 東京」に積極的に参加し、地方の課題である人材確保に管内自治体と共同で取り組みました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求人情報検索機利用者に対して、窓口利用を呼びかけるため、検索終了後のメッセージの表示や館内放送を活用してアナウンスを行いました。

また、雇用保険受給者の就職促進のため、初回雇用保険説明会から再就職支援についての説明行う初回講習を分離開催することにより、ハローワーク支援メニューの紹介や就職活動方法などの説明を充実し、早期再就職促進に努めました。さらに、雇用保険失業認定時に最新求人

情報を配布するほか、「再就職手当シミュレーションシール」の貼付による早期再就職の喚起に努めております。

この取り組みは、全国ハローワークサービスの更なる機能強化を図ることを目的に実施する「全国業務改善コンクール」の最終候補8安定所に選ばれ、厚生労働省においてプレゼンテーションの結果、「努力賞〔就職促進賞〕」を受賞しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求人者支援サービスを充実させるため、「就職面談会」については、次年度も継続して開催し、ハローワークを利用していない潜在的な求職者の開拓（確保）を図ります。また、人手不足分野を中心とした職場見学とミニ面談会を組み合わせた充足支援を継続して実施していきます。併せて求職者に対し職業相談窓口への誘導を行うなど、求職者担当制を積極的に実施することにより、正社員求人への応募などを呼び掛け、正社員就職の促進を図ります。

(4) その他業務運営についての分析等

平成30年度の新規求職者数は前年度と比較し4.2%の減、新規求人数は2.0%の増となりました。また、就職件数は1.8%の増となりました。

求人が一定数確保できていることと、新規求職者数が減少する中、就職件数は前年度を上回るなど、取り組みの効果は出ているため、これまでの取り組みを継続し、さらに、雇用保険受給者を中心とした求職者に対する能動的マッチングを強化し、積極的な情報提供等により早期再就職を支援してまいります。

2 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数
実績	1,550	1,512	367
目標	1,402	1,420	390
目標達成率	111%	107%	94%